

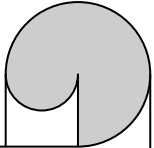
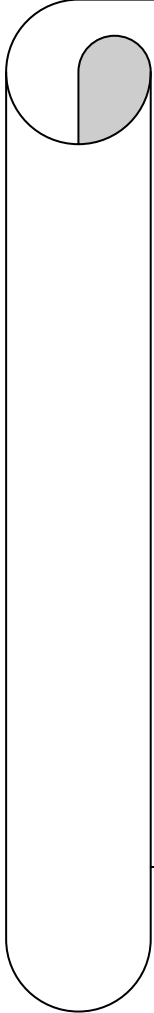
地域公共演習

地域社会の問題を解決するリーダーを目指して

地域公共演習は、地域公共人材クラス向けに開設される少人数授業です。

地域公共人材クラスは、自治体の政策形成や問題解決にあたる公務員、NPO 法人、特色ある地域企業等への就職を希望し、地域に関する深い問題意識を持って、その解決を志向する人向けのクラスです。「地域的」な視野から、「法的」及び「政策的」に考え、表現し、議論する基礎的能力、すなわち、様々な法規範に関する知識とそれに裏づけられた政策の企画、立案、形成を通じて、地域社会で生じている様々なレベルでの紛争の予防・解決に向けたリーダーとなる基礎的能力を育成することを目的としています。

入学当初からこのクラスに所属するためには、推薦入試Ⅰ(イ)に合格する必要があります(1年次後期からはコース・クラス変更ができます)。



1 年次と 2 年次の前期・後期にクラス限定の基礎演習Ⅰ・Ⅱ、地域公共演習Ⅰ・Ⅱが必修科目として開設されます。これらの演習では、法律や公共政策の基礎知識を修得しつつ、地域社会が抱える課題や豊かな地域づくりのために欠かせない活動などについても知見を広げます。そのため、フィールドワークやゲストによる特別講義なども織り込まれます。

地域公共演習などクラス限定の少人数授業で修得した地域に関する理解力と課題意識が、高学年次に各自の関心に沿って選択する演習科目あるいは自治体や地域企業、団体におけるインターンシップへの参加等によって、より高次の専門性と具体性を伴った学びに結びついていくことが期待されています。